

日本共産党千葉県議会報告

2012年8月

県議会控室

260-8667 千葉市中央区市場町1-5 日本共産党千葉県議団
電話 043(223)2544
http://www.jcp-chibakengikai.jp/

重度障害者の医療費

窓口無料化へ 大きな一歩をひらく

20年におよぶねばり強い働きかけが 県議会を動かし 全会一致で請願採択

6月県議会で、3つの障害者団体が共同で提出した「重度心身障害者(児)医療費助成の窓口無料化」を求める請願が全会一致で採択されました。重度障害者の窓口無料化は、県医師会など82団体も早期実施を要求しています。20年におよぶ県民のみなさんのねばり強いとりくみが、大きな一歩を切り開きました。

使いづらい現在の制度

今は障害者の方が病院にかかる時、いったん窓口で医療費を支払い、後から領収書をつけて、市町村に申請しなければ助成を受けることができません。その手続きが大変面倒なため、申請をしない障害者の方もいます。せっかくの助成制度が十分に使われていません。

障害者と一緒に 力を合わせてきた共産党

共産党は、障害者の強い願いに
応えて、県議会で繰り返し求めて

きました。「現物給付(窓口無料化)にすると利用者が増えてしまう」からと、わざわざ使いづらい制度にしている県の姿勢を厳しく批判しました。市町村も含めて「窓口無料化」を全く実施していないのは、関東の中で千葉県だけであることも明らかにし、障害者差別禁止条例をもつ千葉県が障害者に冷たい県だと、指摘してきました。

県は一日も早く実施を

千葉県は、請願採択をうけて、窓口無料化に踏み出すべきです。共産党は、窓口無料化にあたって、障害者に一定額の負担を求めたり、所得制限を強化することのないよう、県に強く求めています。

暮らし、健康、教育 願い実現へ 東奔西走

■下駄箱、物干しの設置など仮設住宅の改善を



仮設住宅で要望を聞く共産党県議

大震災から1年5カ月。共産党は、旭市や香取市にある仮設住宅の居住者からの声をもとに、風呂釜追い炊き機能や、収納スペース、下駄箱、物干しの設置など、住環境の改善を求めました。あわせて、住み心地もよく、地元業者の仕事づくりにもつながる「木造の仮設・復興住宅」の積極的な導入を提起しました。

■放射能汚染の不安に応える 測定体制を

野菜など食品の放射能汚染への不安にこたえて、共産党は、小中学校の給食用食材を大量に扱っている「学校給食会」への測定器導入や、行政と民間が連携した検査体制の強化などを要求しました。



民間の放射能測定施設(柏市)を視察

■いすみ地域 県立高校統廃合の撤回を

県教委が強引にすすめている夷隅地域の県立高校(大原、岬、勝浦若潮)統廃合は、地元の大きな反発をよんでいます。7月7日には「高校統廃合と教育・地域を考えるシンポジウム」が開かれ、共産党県議も、かけがえのない地元の高校を守ろう、と発言しました。



日本共産党



市川市
文教常任委員

岡田 幸子



船橋市
健康福祉常任委員

丸山 慎一



柏市
県土整備常任委員

加藤 英雄



千葉市花見川区
総務防災常任委員

小松 実

日本共産党千葉県議団



元参議院議員

はたの君枝



日本共産党委員長・衆議院議員

志位 和夫

暮らしと平和を守って
全力でがんばります

社会保障を良くし、財政立て直しへ 消費税増税に頼らない道がある

「将来的には引き上げ」「社会保障の財源にふさわしい」と、消費税増税推進の森田知事。日本共産党は、庶民への増税は暮らしを脅かし、財政危機の打開につながらないと指摘し、消費税増税に頼らない別の道を示しました。

日本共産党

**暮らしも財政も壊す消費税10%
民主・自民・公明3党が「密室合意」で強行**

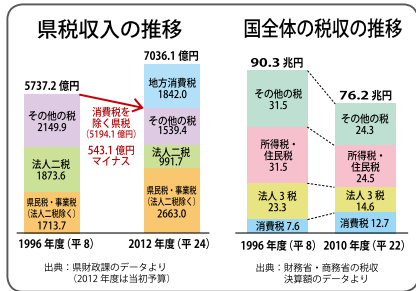
公約と国民世論を
踏みこむ暴挙

民主・自民・公明の3党は、「密室協議」で2015年からの消費税率10%引き上げを決め、衆議院で強行。その一方で、富裕層の所得税等へのわずかな増税は取りやめてしまいました。世論調査では国民の半数以上が「増税反対」です。「4年間は増税しない」との公約を破った民主党、庶民増税にひた走る民・自・公3党への怒りが広がっています。

しかも、増税とセットで「社会保障制度改革推進法案」を押し通そうとしていることは重大です。これは、社会保障の基本を「自助」「自立」とし、「家族や国民がお互いに助け合え」「国は、社会保障の責任から手を引くぞ」という宣言に等しいもの。生存権をうたった憲法25条を骨抜きにすることは絶対に認められません。

**国も県も財政危機が
いつそう深刻に**

「増税はイヤだけど、財政が厳しいから仕方がない」との声も聞かれます。グラフをご覧ください。消費税が5%



に増税される前年(1996年)と2010年度を比べると、国全体の税収は、90兆円から76兆円へと、14兆円もマイナス。千葉県の税収(2012年度)も消費増税を除けば、543億円のマイナスとなっています。消費税増税は、庶民の暮らしを直撃し、消費を冷え込ませ、経済をどん底に突き落とし、その結果、財政危機の打開に役立たないどころか、逆に危機をいつそう深刻にしています。

**浪費の一掃、大企業・
金持ちに応分の負担、
内需主導の経済成長を**

日本共産党が提案する改革の第一は、「応能負担」の原則に立った税財政改革。八ッ場ダム、米軍への思いやり予算、政党助成金(年320億円)などの浪費を一掃し、法人実効税率引き下げや証券優遇税制の延長など大企業や富裕層への行き過ぎた減税を見直すことです。

第二の改革は、国民所得を増やし、消費を拡大し、内需主導の安定的な経済成長へと転換することです。「労働者派遣法」を抜本改正して、正社員があたり前の人間らしく働けるルールを確立し、ワーキングプアをなくすこと。大企業と中小企業との公正・公平な取引ルールをつくること。TPP(環太平洋連携協定)への参加をやめ、食糧自給率の向上・農林水産業の振興をはかることです。

さよなら原発 17万人



圧倒的多数の国民世論に背を向けて、大飯原発の再稼働を強行した民主党・野田政権。「再稼働は許せない」「原発なくせ」、怒りの声がいま首相官邸を包囲し、日本列島を被っています。7月16日の大集会(代々木公園)には、17万人の市民が集い、「脱原発」の声を響かせました。



「鋸山に原発」暴言繰り返す石原都知事 かばいだてする森田知事を厳しく追及

歴史が大きく動こうとしているそのときに。「千葉の鋸山に原発を作ったらいい」などの暴言を公式の場で繰り返し、無反省の石原慎太郎・東京都知事。千葉県の森田健作知事はそれに抗議ひとつできません。「発言の撤回と謝罪を求めるべきだ」と共産党が迫ると、「あれは極端な例としてあげたもの」だからそのつもりはない、などとかばいだてする始末。「千葉県民の代表」が泣きます。石原知事に暴言の撤回と謝罪を要求する決議案(共産党提出)は、自民、民主、公明、みんなの党が否決しました。